

シルバーとよなか

ふれあい

2004年1月

春花

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.38

新春を迎えて



理事長
水上 利夫

新年あけましておめでとござい
ます。皆様には平成十六年の新春を
健やかにお迎えのことと心から
慶び申し上げます。

昨年中は、当センターの事業運営
にご理解・ご協力を賜り厚くお礼
申し上げます。とりわけ、市民の皆様
をはじめ各事業所行政機関等の幅
広いご支援をいただき、厳しい経済
状況の中ではありましたが、昨年末
現在の事業実績は前年に比して約
七割増の実績をあげることができま
した。



豊中市長
一色 貞輝

新年あけましておめでとござい
ます。

皆様方には、お健やかに新春を
お迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

平素は水上理事長さんをはじめ
、会員の皆様方には、働くことを
通じて、健康の保持はもとより、生
きがいを持って地域社会にご貢献

このことは、多くの会員に就業機
会を提供でき、その豊かな経験や能
力を生かすことにより会員の生き
がいを高め、活力ある地域社会づく
りにも少なからず貢献できたものと
思います。

一方、昨年の景気動向はデフレ基
調の中「景気はゆるやかな回復を続
けている」との国の見解も生活実感
としては乏しく、雇用や所得への不
安から消費も伸び悩んでいる状態
であります。

また、イラク復興に向けての自衛
隊派遣やそれに伴う国内へのテロ警
告、アメリカ産の狂牛病問題等、今後
の経済にも影響を与えかねない不
透明な要素を専門家も指摘している
状況にあります。

さらには、私どもに身近な年金制
度の改革案も出されるなど不安な
材料も抱えております。
このような状況下ではあります

いただいておりますことに厚くお
礼申し上げます。

わが国経済は、株価や消費に明
るい兆しが見え始めましたが、依然
としてデフレ経済から脱却できな
い状況にあり、市民生活や地域経済
は、なお先行きが不透明な状況にあ
ります。

昨年、豊中市は機構改革を行
い、乳幼児から青少年までの子育
ち・子育てを支援するための「こ
ども未来部」「環境問題に総合的に
取り組むため「環境部」を設置しま
した。また、市民の皆様のご意見を
お聞きしながら、「健康福祉条例」
や「男女共同参画推進条例」「市民
公益活動推進条例」を制定。蛍池駅
前再開発ビル「ルシオーレ」内に教

が、豊中市の全人口のうち六十才以
上の割合は約二十％で九万人を越
えており、数年後にはいよいよホウ
イトカラー職種の経験の多い団塊の
世代がシルバー世代になる時期が
目前となっており、これからの超高
齢化社会に対応していくためには、
シルバー人材センターの果たす役割
と責任はさらに大きくなるものがあ
ると認識しております。

こういつた背景を受けて「社」全国
シルバー人材センター事業協会では
「時代の要請に応えたシルバー人材
センターの機能強化」に向けての取
組について学識経験者及びシルバー
関係者による研究会を発足し、討議
の内容について昨年十月に報告を受
けたとご報告であります。

その内容は請負形態や派遣、無料
職業紹介、独自事業等、多様な就労
機会の提供の他、職業能力開発ボ
ランティア活動などの社会活動の促

育センターや図書館、公民館、老人
憩の家などを、さらに旧蛍池公民
館に起業を支援する施設「豊中イ
ンキューベーションセンターMOM
O」を開設することも、豊中駅に
は地域の情報化を推進する拠点と
して「エキスタとよなか」をオーブ
ンすることができました。これも
皆様のご協力のお陰と心から感謝
いたします。

本年は、分権型社会にふさわしい
個性豊かな地域づくり、くらしづく
りを進めていくため、自治体運営の
基本原理、諸制度の基本原則である
「仮称自治基本条例」や、高齢者の
交通事故防止と市民意識の啓発を
目的とした「仮称」高齢者交通安全
条例」の制定、未来を担う子どもたち

進、高齢期の働き方や生活設計に関
する相談援助まで、幅広い機能を備
えた「地域における「働く」高齢者の
ワンストップサービスセンター」を目
指したものとなっております。

これを受けて厚生労働省でも近く
新たな雇用形態を見据えた法案提出
を検討しているとの聞いております。

当センターでは今後もこういった
新たな時代の要請に応えるべく、会
員による自主・自立、共働・共助の
精神を基本理念として、高齢者がい
つでも参加できる体制を整備しなが
ら、就業環境の変化や多様化に対応
しつつる経営基盤の確立と、お客様に
たいしても利便性のあるセンターづ
くりのため、私ども役員一同さらに
頑張つて参る所存でございます。

最後になりましたが、本年が皆様
にとりまして、よりよい年となりま
すようお願い申し上げます。新年のご挨拶
といたします。

のための「次世代育成支援対策推進
行動計画」の策定をめざします。

本市の財政状況は、市税収入が
大幅に落ち込み、極めて厳しい市政
運営を強いられています。引き続き
き、市民の皆様のご協力をいただ
きながら、今後は、「政策目標」に応
じた「資源配分のあり方」など、行財
政システムそのものの改革によつ
て、早期にこの危機を打開し、安全
で安心して暮らせるまちづくりを
進めてまいります。

今年も一層のご支援とご鞭撻を
お願い申し上げますとともに、新し
い年が社団法人豊中市シルバー人
材センターの皆様方にとりまして
素晴らしい年となりますようお祈
りいたします。

あけまして おめでとうございます

理事 水上 利夫	副理事長 藤田 泰通	常務理事 中川 善博	理事 橋爪 峰雄	理事 岡本 宗五男	理事 小森 秋一郎	理事 高塚 圭一郎	理事 武井 利雄	理事 徳永 美恵子	理事 平田 登美子	理事 松永 登美子	理事 行田 尊子	理事 丸目 春三	理事 村上 茂之	理事 湯川 善之	監 村田 嘉康	
地域班役員																
第一班 青木 富雄	第二班 西川 三郎	第三班 金川 秀雄	第四班 西田 祐吉	第五班 永田 功男	第六班 大森 一男	第七班 中川 義重	第八班 中島 徳重	第九班 長野 夏枝	第十班 小野 正美	第十一班 田中 ムツ子	第十二班 平野 彰	第十三班 牧田 嘉之	第十四班 高田 憲一	第十五班 川端 圭一郎	第十六班 藤原 弘昭	
第十七班 岡本 宗五男	第十八班 藤田 泰通	第十九班 田村 修三	第二十班 吉岡 信弘	第二十一班 川島 利彦	第二十二班 官浦 利彦	第二十三班 安見 孝稔	第二十四班 谷川 教子	第二十五班 武市 孝彦	第二十六班 藤井 英彦	第二十七班 干綿 礼子	第二十八班 中川 時子	第二十九班 河崎 泰三	第三十班 平川 美智子	第三十一班 古川 弘	第三十二班 伊藤 祐治	
安全就業委員																
藤村 多仁子	金子 勝蔵	堀田 力	吉岡 弘	高塚 圭一郎	行田 尊子	川末 美津子	中村 幸雄	独自事業 プロジェクト推進委員				徳永 美恵子	古川 均	松葉 節子	山田 篤子	平田 篤子
独自事業 プロジェクト推進委員																
A部会																
B部会																
C部会																
D部会																



豊中市議会議長
平田 明善

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい新年を健やかに迎えることと心からお慶び申し上げます。旧年中は市政各般並びに市議会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、イラク戦争や新型肺炎SARSが各国で猛

威を振るつなど、暗いニュースが連日のように各メディアで報道されました。中でも十一月に日本人外交官がイラクにおいて、襲撃事件により尊い命を奪われましたことは誠に残念なことであり、多くの人が心を痛めたところであります。

年末には人道復興支援のため、自衛隊のイラク派遣が閣議決定されましたが、必ずしも安全とはいえない状況の中、これ以上の犠牲者が出ないことを心から願わずにはいられません。

一方、わが国の行財政問題に目を向けますと、政府は構造改革の一環として地方税財政制度の三位一体の改革をきっかけ、国庫補助負担金の廃止や削減、地方への税源移譲、地方交付税改革等を推し進めており

ますが、私たちの老後を支える年金制度についても、本年の通常国会で年金法改正案の提出が予定され、抜本的な改革がなされようとしております。

年金制度については、今後ますます少子高齢化が進み、財源が厳しくなるものと思われ、現役世代の負担率増や給付の見直しは長期的視野にたつて検討をされねばなりません。

世代間での不公平感正や公的年金の一元化などを含めた抜本的な制度改革により、今後の長寿社会の進展に対応していく必要があると思われ。

そうした中、豊中市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の雇用確保や就業支援、また生きが

いづくりや社会参画のためご尽力を賜っておりますことは誠に心強く、心から敬意を表し感謝を申し上げます。次第でございます。

本市は一般会計が五年連続で赤字決算となるなど、極めて厳しい財政状況にあり、財政の健全化に向け、行財政改革を推し進めているところであります。

市議会といたしましても、市理事者と連携を図りながら、すべての人が安心して暮らせるまちづくりをめざし、さらに努力してまいります。

最後に、社団法人豊中市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、本年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

センターだより



平成十五年度上半期の事業実績は、対前年度比約七%増となりました。景況の好転がなかなか見られず、社会情勢も北朝鮮問題や自衛隊のイラン派遣等、不安定要素がありました。会員さんの生きがいとしての就業に対する意欲の高さや社会に貢献する献身性の高さ等が評価され、また現役の会員さんの口コミ等によって、高齢者の方々がシルバー人材センターに入会すれば、「自分にあった仕事が見つかるのではないか」、「何か仕事の紹介があるのではないか」、「自分の経験が社会に役立てることができるのではないか」とセンター事業のPRにも積極的に取り組んでいただいた結果、毎月の就

業実人員の増、会員数の増につながりました。数年先には団塊の世代の方々が、特にデスクワークを主な仕事として経験された高齢者の方が当センターにも入会されます。こうしたなか厚生労働省では超高齢社会においてシルバー人材センター事業の拡大は重要であり、高齢者の就業意欲に因えるため、センター事業に短期の派遣事業が実施できるよう法改正を含め、事業の拡大を計画しています。

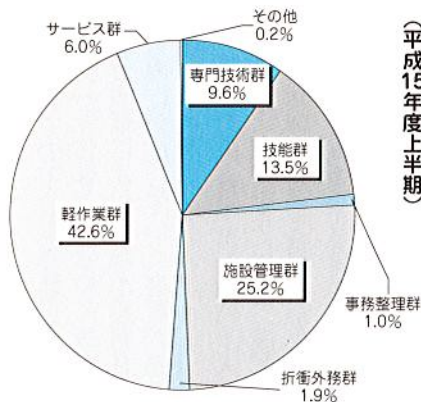
これからも会員のみなさんには共働・共助、自主・自立の基本理念のもと地域に根ざした高齢者の生きがいの一つとして「シルバー人材センター事業」を活用していただきたいと思います。

平成十五年度上半期の契約内容（契約金額に対する各職種の割合）を円グラフに、会員数、就業実人員数は棒グラフで表示しています。未就業の会員の方で、希望職種、就業内容等を変更される場合は参考にしてください。

また平成十四年度から就業機会の拡大も含め取り組んでまいりました各部会の独自事業について、それぞれA部会「知的技能活用、アウトソーシング」、B部会「余裕教室の活用、学校警備」、C部会「リサイクル、工房」、D部会「家事サービス、介護・子育て支援」の活動状況等を次に報告します。会員の皆さんで活動にご協力いただける方は事務局までお申し出下さい。

単位：千円

専門技術群	32,173
技能群	45,105
事務整理群	3,295
施設管理群	84,406
折衝外務群	6,503
軽作業群	142,852
サービス群	20,010
その他	570
合計	334,914



職群別契約金額比較
(平成15年度上半期)



A部会

小山 太造

厳しい状況の中、悪戦苦闘する独自事業開発、A部会アウトソーシング班があります。

活動の趣旨が我々自身の手で就業市場を開拓し、一人でも多くの会員が就業のチャンスを得ることにあるからです。

達成に一步でも近付ける為に、新たに経理事務、社会保険等、事務部門のスタッフを送り込む為の活動・アウトソーシング契約の営業活動に奔走しています。

各産業界の会員を統括する組合の豊中支部、各商店連合会、各種団体の組合事務所等を限無く訪問して、広範囲にシルバーパーワーの効用を訴える活動を続けています。時には各会員をたずねる草の根作戦、これはシルバー効果を認めてもらっただけではなく、益々増加するシルバーパー人口に対処して、我々自身の生き方の選択からしても就業の途を模索していかなくてはならない使命があるからです。

独自事業開発による雇用創出に思いを致した動きがせめてもの救いと、当局に敬意を表したいと思います。

取り敢えずは、我々一人一人自身の手で突破口を切開いていくこ

とになるでしょうが、これが大きな力である政策に繋がっていくことを願わずにはいられません。

メンバーは、フル活動ながら、更なるバックアップが得られるならば行動力を強化することも可能で、事業推進に有効となることでしょう。

訪問を続けたある日、千里地区の商店会長さんにグループで面会が叶いました。これ迄シルバーを活用され駐車場要員などを雇っていただいた顧客である会長さんから、親切な対応を受けて感謝したものでした。その会長さんが数週間後センターに來られて、我々グループにアウトソーシングの案内パンフは各会員に回覧している、お知らせまでいただいた上、駐車場の追加要員を要請されました。

この御好意の陰には、グループである、大野さんのこれ迄の尽力によるものであり、アウトソーシングPR以後日参した、原会長の誠意が報われたことで、我々グループにこの取り組み姿勢がある限り、いつか先にきつと実を結ぶ時が来ることを信じています。

営業資料の準備から、連絡の対応と様々な面で協力いただき、事務局の、志方さん・村井さんのご支援に感謝しながら今日もグループは車を走らせています。

B部会

山田 篤子

独自事業推進プロジェクトも今年十二月中に何らかの方向性を決定しなければならなくなりまして。

B部会における経過を報告しておきたいと思えます。

先ず小学校の警備の件につきましては、教育委員会に確認して頂いたところ、国の補助がついていゝる事、専門の警備保障会社に任せるとの方針で当センターの入る余地なし、幼稚園については検討するとの事で、独自事業としてやっていくにはあまり希望の持てない結果となりました。

次にパソコン教室に関しては、十四年十二月から翌年三月迄テスト形式で週一回合計十四日開講致しました。大変好評で、毎回十三人平均の方々におこし頂きましたがセンターからの制約条件もあり、受講者の方々の強いご要望もありましたが、断念せざるを得なくなりました。

シニアの方々の生活に密着した楽しい教室で、学習したいという需要はこの時期大変あることは、実感しておりますが大変残念です。

又、空教室にセンターとしてあ

まり設備投資出来ない状況等の中で、いかに空教室を利用出来るのか検討しました結果、あまり設備のかからない補習事業、絵画、音楽、将棋等の教室を開いてみてはとの事で、各ご趣味をお持ちの方々に声を掛けました。

現在ご賛同戴いた方々がお集まり戴き、各教室まとまってグループ活動とし、場所は野田小学校を使用します。受講希望者があるかどうか、アンケート等で需要調査を行い、来年四月開講を目処に着々と準備が進んでおりますが教育現場であるため、一般市民からお金をいただくという事は、いかなるものかとの事で、B部会としての学校空教室は、使用出来ないとの結論に至りました。

C部会

永吉 功男

独自事業推進プロジェクト委員会C部会は、事業活動として、本年度はガレージセールである、リサイクルショップを四ヶ月に一度の割合で、春、夏、秋の三回開催致しました。会場は地域の商店街の催事場で、商店街商業組合のご厚意でお借りする事が出来ました。

地域商業施設の活性化、近隣住民の方々との親睦など、微力ながら

お役に立てたのではと思えます。又、会員相互間においては、リサイクルバーターショップ開店に向けての知識や感性を高める為のトレーニングとして役立つのではないのでしょうか。

催事会場は約三十坪の売場面積が有り、会員の出店者の十五名、二十名が販売、運営の自主管理を行なっております。開催を重ねる度に、それぞれの担当者も経験を生かし動けるようになりました。地域の方々から期待され開店を待ち望んでおられるまでに成長した事を嬉しく思うと同時に責任の重さを感じます。

平成十六年、この部会が継続されるなら、常時利用可能なストッカー、運搬用の軽車輦などの確保と会員の方々がより多く活動出来る場の確保を作っていきたいと考えております。これと併わせて、修理再生工房(木工製品、玩具、電化製品、ペンキ塗り、柵作り、自転車修理、網戸、ふすま張替、包丁とぎ)など同時開店を目指し、技能保持者も数人名乗りを挙げて下さっており、目的に向かつて少しずつながら進んでおります。自転車レンタル事業につきましては、多方面からアドバイスや独自の調査をまとめて検討致しておりますが、資金面、保管場所など容易なもの

は何一つありませんが一つずつ解決しており多少時間が必要かと思えます。会員の皆様方からもアドバイスなどお待ちしております。

口部会

古川 均

当部会として介護、家事、子育て支援事業の取り組みを関係機関と連絡、情報の収集等を図り鋭意検討して参りましたが、それぞれの分野での事業活動を立ち上げることは難しいと判断するに至りました、今後は調査検討した結果を踏まえ他の部会と広く意見交換、市場分析を行い独自事業の推進に努めて行きたい。

今までの経緯と調査結果を次ぎのとおり取りまとめました。
介護支援事業一居たく支援事業者として認可が必要であり、新たにケアマネジャーが求められるため、現段階では事業を推進することは困難と思われる。

加えて、最近の介護事業は相当の重労働のようで、若いヘルパーさんが求められている。

このような状況から、豊中市福祉公社と連携し家事援助事業の仕事に繋がるものを見極めて適切に対処していく。

家事援助事業—豊中市高齢福祉

課と密接に連絡をとり更なる人材派遣の要請をしていく。

子育て支援事業—少子化と経済の低迷が長引くため一段と子育てに悩む家庭が増加し、特に地域子育て支援ネットワークづくりの推進を図ることが求められ、各地区福祉委員会が中心となって、既に十五地区において子育てサークルやサロン、親子クラブが立ち上がりボランティア活動を展開している。当面は無償によるがいずれは有償の子育て支援事業へと移行していくものと思われる。この事については豊中市社会福祉協議会と連携を図り、ヘルパーの人材の要請を依頼していく。

終わりに、シルバーの人材派遣事業としては、障害者の支援制度にたいする援助、保育所、幼稚園、小学校への通園、通学の安全バトロール、放課後の公園、遊び場、遊戯施設などの巡視など多方面に活動を展開していくべきと思われる。



賛助会コーナー

- (株)イーバック (日出町)
- 三和ビル(株) (庄内東町)
- (株)高尾鉄工所 (島江町)
- (株)加納 (中椋塚)
- (株)オカキン (原田中)
- (株)渡辺製作所 (名神口)
- ホテルアイポリ (本町)
- (株)湯山製作所 (名神口)
- (株)太鼓亭 (箕面市稻)
- (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
- (株)内田スプリング製作所 (千成町)
- 三采源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)
- 日章アステック(株) (名神口)
- 大阪理研工業(株) (神州町)
- 名鉄観光サービス(株)梅田支店 (大阪市北区)
- やまかつ(株) (大阪市北区)
- 岸岡企業(株) (庄内西町)
- 東栄精機(株) (浜)
- 国産部品工業(株) (新千里東町)
- (有)イーパツク物流 (日出町)
- (有)ティアンドピー (尼崎市小中島)
- (株)メガネスーパー (本町)
- 仏光山如来寺 (箕輪)
- 正光山浄行寺 (走井)
- 庄内神社 (庄内幸町)
- 西岡 孝 (本町)

編集のしおり

新年明けましておめでとうございます。気候不順な、昨今、会員のみなさまには、健勝にて、新年をお迎えになられましたでしょうか。

本年も、一色市長及び市議会議長から、懇切なる年頭の祝辞を拝し、この場をかりて、熱く御礼申しあげる次第です。

「会員のひろば」では前号に引き続き、独自事業の課題、就業体験の思いをつかさびに伝えていただくなど、多数の会員の方々の投稿を得て、誌面を飾ることが出来ました。

「ふれあい帽子」のコラムでは、前任者の徳永理事の後、佐藤さんには心温まる視線で就業の現場を伝えていただき、充実した新年号になったことと思えます。今後とも、ご投稿をお願いいたします。

例年のことながら、表紙写真(京都清涼寺軒端の梅)は藤田副理事長の手を煩わしました。「春花」は書道クラブの平田理事のご協力を得ました。

(編集委員一同)



豊中ケーブルテレビの

取材に込めて



第十二班

二木 富男

本年九月五

日、突如シル

バーセンターから派遣されている桜塚商店街自転車管理作業現場に、豊中ケーブルテレビ撮影取材班が訪れ、いろいろインタビューを受けることとなりました。

◇センターへ入会の動機は

私は会社を定年退職後いろいろな仕事を経験していましたが、その中の一つであるスーパーでの駐車管理業務時に、ある同僚の一人が豊中市シルバー人材センターより派遣されると教えられ、その時はじめてシルバーセンターの存在を知りました。

スーパーの駐車場が閉鎖されたのを機に何か健康的に働ける仕事はないものかと思い入会した訳です。

◇働いてみての実感は

入会後一ヶ月位で現在の桜塚商店街自転車管理作業に派遣されて以来約三年になります。桜塚商店

街界隈は阪急岡田駅から市役所迄の通称市役所通りとも云われ、この密集した商店街に大小百数十店舗がひしめき合い大変にぎやかで活気ある商店街です。この商店街界隈には、悲しいかな自動車の駐車場が皆無であります。お買物客の足となっている物は自転車为主体で、単車・車椅子・お婆車などです。

自転車置場はいつも大繁昌の有様で、いろいろなタイプの人達が来られます。主婦・子連れの若夫婦・老若男女・身体障害者等々です。その中でも暴走族風の若者で一見悪党の兄ちゃんタイプの人は無謀に置き去り、本当に後始末に困る厄介者でもあります。しかしどんな人達でもお客様には変わりありませんので親切丁寧に黙考して事故やトラブル防止に努めることが私たちの任務であります。

お客様から大変なお仕事ですね！お体を大事に無理せず頑張ってください！ご苦労様！ありがとうございます！とお言葉をいただいた時は本当に心がなごみますし、お客様との気持ちも通じ合っている仕事を本心に健康的で働き甲斐を感じます。

今後はシルバーセンターと桜塚商店街界隈とは十数年来の永いつながりがあるときいておりますので、この永い信頼関係をそこなうことなく、私たちセンターから派遣された全員の結集力と深い連帯感の体制のもとで、微力ながら貢献

できればと願っております。

新しき出逢いの日々

第十五班



山本 享子
例年敬老の日

日は老の字が

いやだな等思い乍ら、記念品頂くだけで早々帰宅だった。しかし今年には近所に新人さんが居られ同行となる。児童の合唱等可愛い催し、その上おせんざいをよばれプレゼントを頂いた。その袋の中に三年女兒作品のコースターがあり、後日校長先生宛にお礼状を、すると六年生の女兒の運動会のお知らせが送られて来た。それもパソコンでの作成、構図配色仲々立派な作品！生憎運動会の日は先約ありで、皆さんに逢えなかったが可愛い友達二人増えました。

パソコンは豊中ネットヒル一期生、そもそも手ほどきして頂いたのが東泉丘小学校三階東端の教室、十五中のお借りした。私にも出来るのか？ドキドキヒヤヒヤ、秋口でアレルギー発生、頭髪パラパラ落ち肌ガサガサ、化粧など出来る筈もなく情けない時期、帽子をかぶり手袋をしてのパソコンいじり、デジカメで撮ってもらった写真は変な記念の証、その時の仲間四人は、今でも月一回の食事をもち、質問失敗談に花咲かす、今ではアレルギーがあの時程でなく、回生HPの先生の「水

をのめ」との御指示が効いた様です。横道にそれましたが、小学校で使わせてもらったあの機械で可愛い子供達が懸命に練習しているかと思つと楽しくなります。又昔会計事務所をやっていた時、この機械があればどんなに楽か！尤もエクセルは苦手なんです。

先日、応募を見に旺玄会の人と行きまして帰途上品な外人夫妻にJRの駅を聞かれ、御一緒にその時アドレスの交換をしたのです。どうやら法律事務所らしい、宿泊は神戸のホテル、英語でメール来たら大変、英和・和英辞書を手元に取り出し御挨拶の下書き等、刺激的な出来事でした。

神無月も明日一日、出雲に集られた神々は各地にお帰りになる。又西欧ではハロウィンとかで子供達が仮装してお菓子をもらいに来る楽しいお祭りらしい！

新しい出逢いを心待ちに、知人となつた方は大切に、日々春日池を一周しながら思うのです。

「インスト」テストに挑戦

第十五班



原 健一
この度、シルバー人材セ

ンター主催「インスト」テストに初挑戦しましたが不合格でした。これは当然のことで自分でも納得しています。

と言いますのもパソコンについ

て基本からやらず、我流で書類作成・表の作成や表計算またチラシを作ったりするのに不便を感じなかった。一寸勉強すれば直ぐに理解できるのではないか、などと勝手な解釈で受講スタートをしましたが。ところがパソコンの奥行きはとてつもなく深いことが分かりました。

しかも私の所有しているマシンは98で、XPの教材では適切な反応が出来なかったため苦労し、理解度にも影響しました。

「インスト」成績の結果はともかく、この勉強のお蔭で、現在A部会で行っている自分史等の仕事をするため及びこれから取組むアウトソーシングの経理・総務の仕事をする上で役立つのです。また苦労した分、パソコンはマンツーマンならアドバイスがができるようにもなりました。人生で何を勉強しても決して無駄になることはないことも分かりました。これからももっといろいろな勉強を続けたいと考えています。それと言うのも占いに見て貰った（私も少しはしますが、自分のことは難しい）ところ、八十歳から運勢がよくなるからと言われました。八十からということは、考えてみれば長生きをすることになるのだからと自分で勝手に解釈をして目標を決めました。

現在、アウトソーシングの仕事を獲得するため営業活動のチームを組み、週に一度の割合で回って

います。アウトソーシングと自分史等の仕事を増やすことが当面の大きな課題となっています。テストが不合格でよかったなあと実感しています。「人間万事塞翁が馬」ということでしょうか。ただ、世相から考えて営業活動をしたからといって直ぐに成果に結び付くかは疑問ですが、一日でも早く一件でも成約できるように願いながら活動しています。

この「インスト」テストのチャンスを与えてくださったセンターの志方さんと村井さんにこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

心に残る一言



第十七班
江口 節信

新聞や雑誌

に目を通して

いて、かと思過(し)そう(な)片隅(に)、何か心にグツと来る「ひとこと」を発見することがある。それ等を書き残して置き、時折、取り出して眺めては、何時までも愚かな自分を戒め、いたわり、励まして来た。これからも命ある限りそうして行きたい。以下はその中の幾つかである。

- 若くても頭の固い人も居れば八十代でも若々しい人はいる。年齢にこだわるのは如何にも日本的で戴けない。
- ボロは最初に見せておけ、そう

すれば後は天下泰平。背伸びして暮らすと、死ぬまで爪先立ちして居なければならぬ。

●人間は年をとることによって徐々に失っていくものと、新たに獲得するものがある。失っていくものに目くじらを立てるより、獲得できるものをしっかりと身に付けようと考えた方が余程実りが多いだろう。

●記憶力について言えば、人間はつまらないことをいつまでも記憶しているより、大事なことを外をさっぱり忘れてしまった方が、むしろ楽しい毎日を送ることが出来る。一種の自浄作用である。

●小さい批判をせず、ただ「聞く」ことに、人に安らぎを与える力があると知った。柔らかな言葉は、苦しみをほぐす。

●本当の「賢さ」は、何でも知っていることではなく、必要に応じて「愚か」になれることである。知らない方が幸せなこともある。

●「どうなるか」より「どうするか」に頭を使え。

●晴れた日はかりじやつまらない。

●「粗野」は恥じるに及ばず、恥ずべきは「卑しさ」である。



ショート・ショート



第十一班
脇本 篤人

「狐の嫁入り」

よく晴れて、陽が差しているのに雨が降ってくる時がある。あ！狐の嫁入りだ。」と面白がる人が多い。だが、その由来を知る人は、案外少ない。

むかし、農村での嫁入りは「花嫁行列」を造って農道を歩いて行ったものだ。その行列に逢った人達は、夫々にお祝いを手渡したものだ。と言っても農村の事だから、大根だとか人蔘だとか農作物が多かったと言おう。

それを遠くから見ていた狐達は、「しめた、花嫁行列を造ると食べる物が手に入るぞ」と花嫁に化けて食べ物をまんまとせしめていた。

しかしそれも永くは続かなかった。本物の行列の方は、花嫁が先頭に立って振袖を振りながら歩いたものだ。

狐の方は畜生の悲しき、その風習に気がつかなかった。村人たちは振袖を振らない行列を見て狐の行列だと見抜いて何も呉れなくなった。

そこで振り袖振らない狐の嫁入りと言った。

晴れた日に雨が降ると、「降りそで降らない狐の嫁入り」と言うようになった。

「句読点」

ココカラハキモノヲヌイデクタサイ此処から、履き物を脱いで下さい。此処からは、着物を脱いで下さい。

オシヨクジケンカンゲイ
お食事券歓迎
汚職事件歓迎

想いのたけをふみに託して…

俳句

初蝶や
われ八十の
朱のドレス

第十班 朝倉 幸子

乱菊や

わが哲学は
一すじに

酒の美し

寒夜の火に
あたためん

甘藷の蔓

たぐれば
遠い日につなげ

子に還る

心に拾ふ
樫の実

秋の陽の

笑い仏を
つつみたり

日向ぼこの

猫の髭を数む

福耳の漢が

担ぐ戎笹

短歌

寒さに病み 介護受く身は
時よ人よ 穏しくあれと
願う明暮れ

第十班 朝倉 幸子

保健所より犬引取りて

お互いの生の喜び
犬と語る娘

第十七班 山下 勝美

「ボール投げなどして

遊んでネ」と便秘の犬を
気遣いて娘は
旅に出で行きたり

ぜいたくに

育てし孫と一夜ねて
切々と説く正しく
生きよと

当選に

浮かれておどる
「万才」の中に人々(当選者)の
人格を視る

第二班 須藤 操

「ばんざい」と拍手の中に

つつましく頭を下げる
夫妻を見たり

同好会だより

ハイキング同好会

第十三班 羽生 恵光
高雄・保津峡

「台風十四号は、日本海を北上中」早朝五時のテレビ放送を見て本日のハイキングを決定と判断し、役員三名と相談。電話にて問い合わせの会員さんに連絡。七時現在の天気は晴。

集合場所の十三駅には、二十五名の会員さんが参加されました。八時三十分発特急に乗車。九時三十分四条大宮着。大宮よりJRバスに乗り換え、高雄に向かいます。

バスに乗車中雨が降りだし、高雄に着いた時にはカラリと晴れ上がり、「雨男、雨女もないグループだ」と冗談も出ました。雨に濡れた長い石段、滑るので注意しながら清滝、保津峡に向かい歩き始めました。十時十分、清滝川の渓谷を眼で楽しみながら、約三十分ほど歩き、川を渡り対岸にて休憩とします。

雨上がり
の割合には
順調です。
心配なのは、岩場の歩き、慎重に注意に注



意し、全員無事に清滝に到着しましたが、食事する場所が濡れており、下流の方に、右、左と探し、岩場のよい場所に、腰を下ろし食事を始めます。

川の瀬音を聞きながら食事、暑さを忘れた一刻でした。

一時三十分出発。途中の清滝川と保津川との合流点、水の色で分かります。坂を昇り県道に出ると、朱塗りの落合橋が目の前に現れ、その前方には「古びたトンネル」が見えました。落合橋を渡り、トンネルを抜けると、のんびりと保津川を下って行く、川下りの船に手を振って挨拶。対岸に「トロツコ列車」の保津峡駅を見ながら、「JR保津峡駅」に向かう最後の峠を、元氣よく登り? 本日の行程を終わります。

暑い最中、おつかれさん。帰りの桂川の川原、茶店でのおどろかし「かき氷」の一杯は、いかがでしたか?!

Ｔ・シルバートラベル同好会

第一班 山田 英明
すべて世の中三三四

在職中の或日お得意先の会社を訪問してその会社の社長にお逢いして聞かされた話の中で「総て世の中三三四と私が言ったら、その意味わかりまっか」と、社長さん大阪弁で言われた。聞いた私はすぐにその意味を理解するのに時間がかかっていたら、社長さんは「まあそこへ座りなはれ」と目で指図された。私は言われるように、腰をかけた。社長さんは「その意味わかりまへんか？それはな」と言つて説明された。「最初の三はな一何事に於いても言つても出来ん奴、次の三はなあ一言つた事だけはなんとかやり遂げよる、最後の四は言はれなくても自分から考えて自分に与えられた仕事の意味を考え一つの仕事が終われば次何をするか考えて次々と先の事を考えてちよつともじつとしてない奴や」と言われた。それを聞いた私はすぐに三三四を自分にあてはめて考えて見た。職場での毎日の仕事を思い出して最初の三ではないが最後の四でもない。言われた事だけはなんとか成し遂げている普通の人間なんだなあ！と反省した。その社長さんは最後にこんな事も言われた「最初の三のような者即ちお日さん西さい銭こつちと言ふ精神作用の者は会社では必要ないんで即刻クビですわ、企業体では最後の四の者ばかりが必要なんですと言われた事を思い出し

て現在の我々の仕事上に最後の四になるよう努力しなければと思う次第紙面に限りあり今回はこの辺で終ります。

美術サークル同好会

第一班 山階 康雄

「美術サークル日帰りスケッチ」十一月七日(金)お天気を気にしてたが幸い晴天に恵まれ晴れはれた気分で阪急宝塚駅ホームで待ち合わせする。

AM十時全員集い阪神バスにて小浜バス停にて下車する。会員の一人がバスに所持品を置き忘れて下車。気付くのがおそくアレヨ、アレヨと云う間にバスは遠のく。



どうしたものと皆うつろたえたが、色々と手をつくした結果、その本人が阪神バス車庫へ出向くことになった。笑い話にもならない小さなできごとであったがお互い気を付け気を引きしめる。

小浜地域は明応年間に浄土真宗の毫根寺(こうしょうじ)が建立された歴史ゆかりの町であり家屋町並み街道が歴史を感じさせる。

紅葉には少し早過ぎたが、かえで、桜、いちよの葉が赤、黄とまざり鮮やかな色彩をかもし出しいちだんと秋の気配を感じる。

お寺の周辺でそれぞれスケッチに掛る。この時期夏を思わせるような気候であったので、道路脇の日陰にすわりこみ描きはしめる。たまたま小学生の下校時間帯で女の子二人が声を掛けてくる。「オッチャン、なに描いてるの、上手やな」前にしゃがみこみ手の動きと私

の目をまばたきもせずみつめる。可愛らしい小学一年生、私も手を止めしばし子供との雑談に時を過ごす。

閑散とし人通りもなく時間が止まったよつな感覚になるが、表街道へ一歩出ると車の往来もはげしい。帰宅準備三時三十分、お寺に集合。土屏に囲まれつり鐘堂がお寺の古さを感じさせる。

風景画もそれぞれ個性豊かに描かれ非常におもしろさを感じさせる。

書道同好会

第十八班 前田 未弘

良き年を迎え新春のお喜び申し上げます。書道同好会の会員数も年々増加しうれしい悲鳴をあげております。今年も初心に帰り、書の奥深さを追求して参りたいと思います。

諸先生方には手厚いアドバイスと細かい書技向上の御指導を戴き、感謝の一念でございます。本年も共に楽しく頑張りましょう。



第3班 松田 禎子

梅花香
る山里

富代 竜子

第5班 丹野 富代

金巻る
玉振

柳子 竜子

第14班 藤崎 郁子

毛施淑姿工擧
妍笑年矢每催
義暉朗曜旋璣
懸幹晦魄環照

勝美 書

第17班 山下 勝美

言忠信
行篤敬

久子 書

第18班 門野 久子

囲碁同好会

第三班 梶浦 武彦
本年夏期の囲碁大会は八月二十二日十二名の参加者で開催し

ました。会場は前回と同様に豊中国際交流センター一階の桜塚自治会館（和室）をお借りして各四局の対局結果により優勝者矢野氏、準優勝者は三名の同率者でシャケンにより梶浦氏と決まりました。次回の大会は一月末頃を予定しておりますので同好会員各位のご研鑽と奮っての御参加をお待ちしております。

テニス愛好会

第十三班 大原 一成
毎週一回豊島公園内のテニスコートで二時間、会員の皆さんと楽しくプレーをしています。

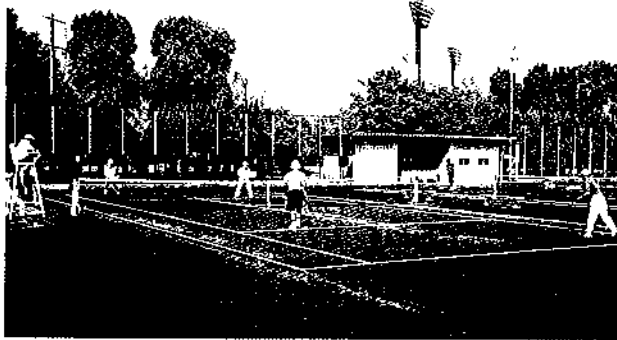
今回はテニスのコートについて少し書いてみる。日本ではコートの表面（サーフェス）はクレイ（砂）アンツーカー（レンガの粉末）のコートであったが、昭和四十年以降に全天候型コートが外国より輸入され、各地のテニスクラブ等で施工された。ハードタイプ（アクリル樹脂）、人工芝、人工芝の砂入り、等々数種類のコートが現在使用されている。

ではコートのサーフェスに使われる材料に規制があるかと言うと、国際ルールでも何の規制もないのである。決まりと言えはコートの大きさ、ネットの高さだけである。極端に言えばコートの半分ずつ違うサーフェスを作っても良いのである（試合の時にチェンジコートをするからである）。

ではコートの大きさはどのくらいかと言うと、ダブルスコートで縦約二十四メートル、横約十一メートルである（約と言うのはテニスボールがよこっで生まれたのでフィートを使用している）。以上のように大きさ、高さ以外何の制約もないので世界中どこでもプレーしても同じである。

しかしここでプロにもアマにも大きな問題がある。それはサーフェスの違いである。プロの選手でも不得意なサーフェスでは勝てず、グランドスラム（四大大会）を達成する選手が出て来ないのである。ちなみに、四大大会とは全豪、全仏、全英、全米であり、すべてサーフェスが違っているのです。

以上コートについて書いてみたがどんなサーフェスのコートでも



気の合った仲間が集まり、楽しくプレーすることが一番であると思う。これからも長くプレーを続けていきたいと思う。

文芸クラブ「うるおい」

文芸クラブ「うるおい」では、年二回、同人誌「うるおい」を刊行しています。次号で第八号になりますが、会員の皆さんの熱意で欠かすことなく続いています。

月例会では、作品の鑑賞・講評、時節の寸評など、自由に意見交換をしています。

この一月十四日（水）には新年会をホテル「アイボリー」にて開催し、今年の吟行予定などについて話し合いました。

どなたでも参加歓迎です。

問合せ：会員・岡本

（〇六一六八四八一五二一〇）

シルバー「英会話」クラス

「シルバー」「英会話」クラスと銘打って9月から、月2回、第1火曜日と第3火曜日に集まって、むづかしい英語はやめて、自分達で、会話のストーリーを組立てて、英語名を呼び合せて、会話を愉しんでいます。暮には英語でクリスマスソングを歌い、楽しいパーティーをしました。皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ：会員・岡本

（〇六一六八四八一五二一〇）

シニアならではの働き 洗濯班



私は“ふれあい”帽子

十月三十一日(金)小春日和の午後、「社会福祉法人豊中愛和会 ロースコミュニティ・緑地」内の「特別養護老人ホーム・豊中あいわ苑」を訪れた。この施設は、敷地面積一万二七一九平方メートル、五階建て、延べ床面積一万六二二六平方メートル、緑地



公園のサポテン公園跡地に昨年四月オープンした複合福祉施設。

落ち着いたれんが色の外観。玄関を入ると広々としたエントランスホールの床は大理石、総ガラス張りの向こうには噴水と、ホテルのような雰囲気私の目はまっまるに。五階の洗濯室に向かう。

大型自動洗濯脱水機四台、家庭用全自動電気洗濯機四台、同乾燥機三台、ガス式乾燥機三台に囲まれて会員の江見禮子さん、古家成子さんが、施設職員の小西泰子さんと一緒に作業の真っ最中。しばし取材をお願いした。

この仕事は年間を通して週六日制で盆も正月もない。二人ずつ組んで週二日、六人就業している。各八時三十分から十六時三十分まで、九時から五時までの時差出勤。

まず各階の洗濯物の回収から始めて、点検、下洗い、その上で普通衣類、失禁衣類に分けて洗濯する。乾燥機にかけて仕上がったものは手際よく畳んで納める。

しかしこれだけではない。ボタンつけや衣類の補修などミシン掛けも時に応じて手掛ける。送迎用自動車のカーテンづくりまで依頼されているという。シニアならではの働き、さらに自称グータラママの私は感心しきり。お話を伺っている間もタオルを畳む手の動きは忙しい。

「初めての回収の時、下用タオルや失禁衣類を見て、一瞬大変だなあと思ったが、スタッフの方の日頃のかいがいしい働きを知るにつれ頭の下がる思いで、自分もせい一杯やっている」と江見さん。



第八班 佐藤 アツ



十月から参加した古家さんは、「皆さんに教えてもらいながら楽しくやっています」。職員の小西さんから「この人は皆若々しい」とおほめの言葉をいただいた。

専用の車いすごと入浴できる最新の設備なども見学して玄関に出た時、今一人、ショートステイ送迎を担当している吉留正美さんに会うことができた。車いすを手際よく自動車内に取り入れて固定し、ご夫婦と介護員と共に出発された。江見禮子さん、古家成子さんに吉留正美さん。元気なシニアにもありと実感した取材でした。